

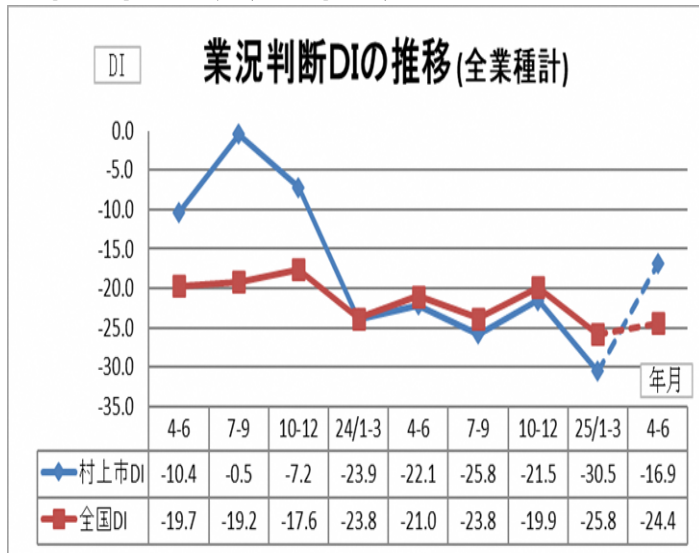


村上市 景況調査報告

＜令和7年1-3月期の実績・令和7年4-6月期の見通し＞

『諸物価高騰で厳しい状況下に米トランプ関税の影響も大きい』

■村上市の業況(全業種計)

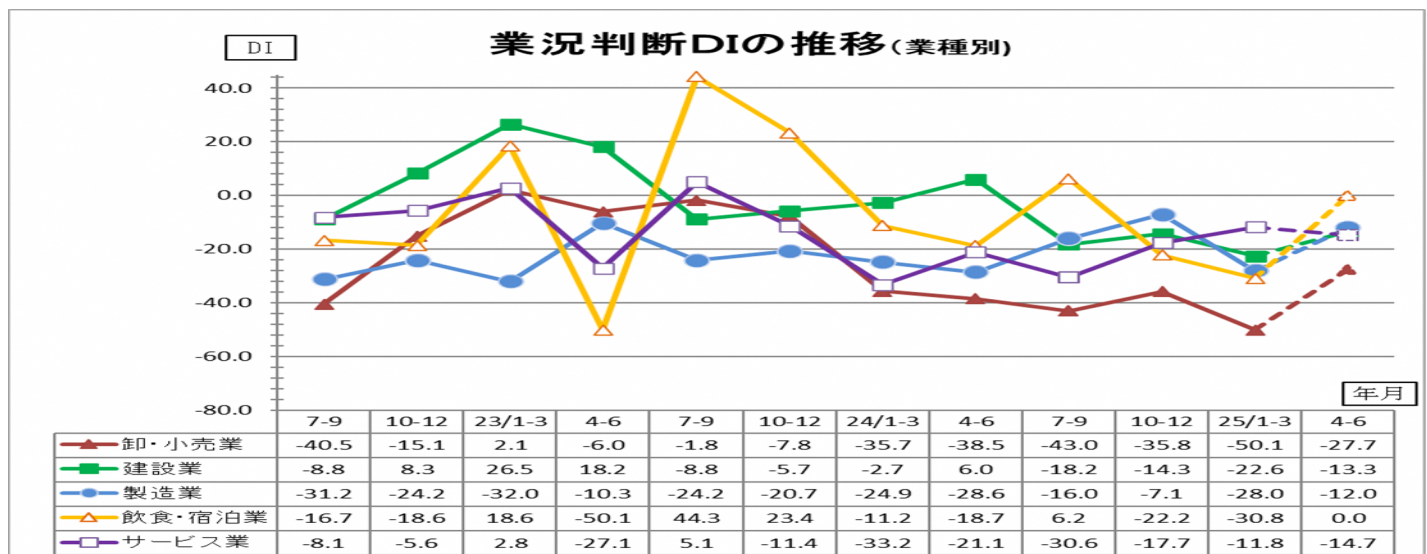


今期(1-3月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(10-12月期)と比べ9.0ポイント低下し▲30.5となった。前期における今期予測(▲39.9)より9.4ポイント上昇し、前年同月比では6.6ポイント低下した。全国DIは5.9ポイント低下し▲25.8となった。

来期(4-6月期)については、13.6ポイント上昇し▲16.9となる見通し。全国DIは1.4ポイント上昇し▲24.4となる見通し。

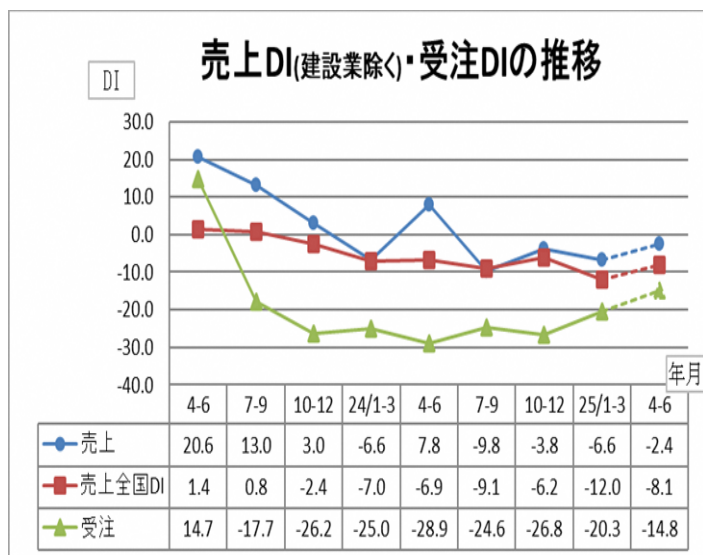
業種別のDI値はサービス業以外は低下しており、全業種でのDI値も低下した。米トランプ政権の影響が直接あるというコメントは見受けられないが、国内景気に与えている影響は大きいというコメントは多い。

見通しとしては、サービス業は悪化の見込みだが、それ以外の業種は期待を込め、DI値は上昇を示している。ただ、米価高騰と人手不足が深刻な問題となっている。



■業種別の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
【実績】 ◆(車輛)物価高騰で高額車は買い控え。◆(精肉)大雪や高齢化により客足減少。◆(惣菜)購買率が減少。◆(家電)エアコンは好調だが安い量販店へ流れている。◆(家具)来店客数が極端に減少。 【見通し】 ◆(家具)米トランプ政権の政策により不透明。◆(米穀)原料玄米調達为新米出荷期まで不安視されている。	【実績】 ◆(板金)雪による工期延期で受注の先送り。◆(土木建築工事)災害関連工事が終わり本業の受注は減少したが除雪で受注が増加。 【見通し】 ◆(木造建築工事)新年度に入り各分野で発注も見えだし、「村上市未来に向けた住まいづくり推進事業補助金」により受注が入ってきている。	【実績】 ◆(板金加工)前年の能登半島地震仮設住宅関連の反動あり。◆(製材)木材需要が少ない上に若者が家を建てられない。◆(半導体)引き続き増産予定。 【見通し】 ◆(菓子製造)人件費・原材料の上昇分全てを価格転嫁できない。◆(米トランプ政権の影響)受注が不安定になっており国内景気もシュリンク(収縮)していく。	【実績】 ◆(飲食)賃金上昇・仕入価格高騰で利益圧迫が続く。特に米や酒。◆(宿泊)昨年の復興キャンペーンの反動もあるが豪雪の影響が大きく売上低迷。 【見通し】 ◆(飲食)売上は横這い又は微増でも米価上昇が懸念。◆(宿泊)節約志向で泊まらずに贅沢ランチ傾向あり。	【実績】 ◆(車輛整備)人口減少の上、若者の新車購入機会減少・高齢者の免許返納で顧客減少傾向。◆(解体)受注はあるが人手不足。◆(運送)燃料費高騰で厳しい。 【見通し】 ◆(リサイクル)資源価格変動のリスクと深刻な人材難。◆(運送)引き続き燃料高騰・賃上げ・人手不足。



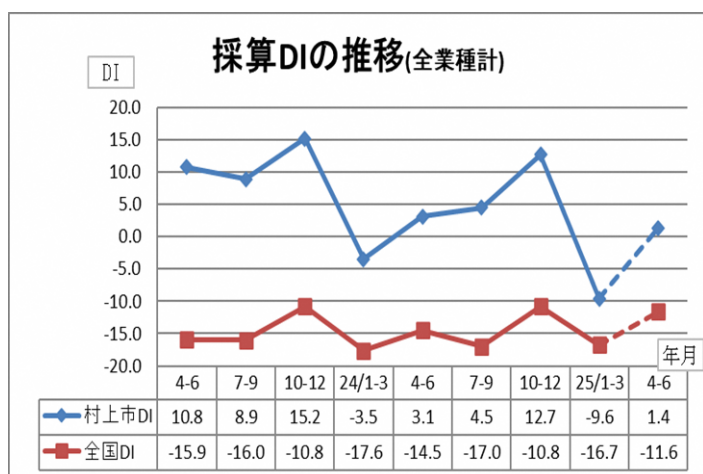
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、2.8ポイント低下し▲6.6となった。前期における今期予測(▲8.4)より1.8ポイント上昇し、前年同月比では同ポイントとなった。全国DIは5.8ポイント低下し▲12.0となった。

来期については、4.2ポイント上昇し▲2.4となる見通し。全国DIは3.9ポイント上昇し▲8.1となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、6.5ポイント上昇し▲20.3となった。前期における今期予測(▲40.4)より20.1ポイント上昇し、前年同月比では4.7ポイント上昇した。

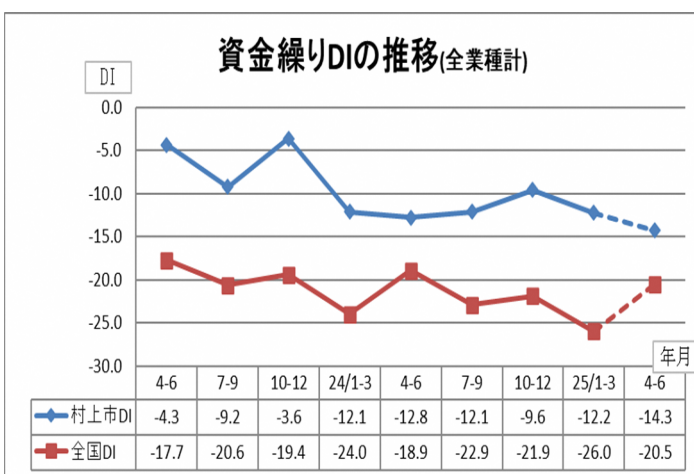
来期については、5.5ポイント上昇し▲14.8となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	-51.7	-29.0	-19.3
・製造業	4.0	-8.7	-8.7



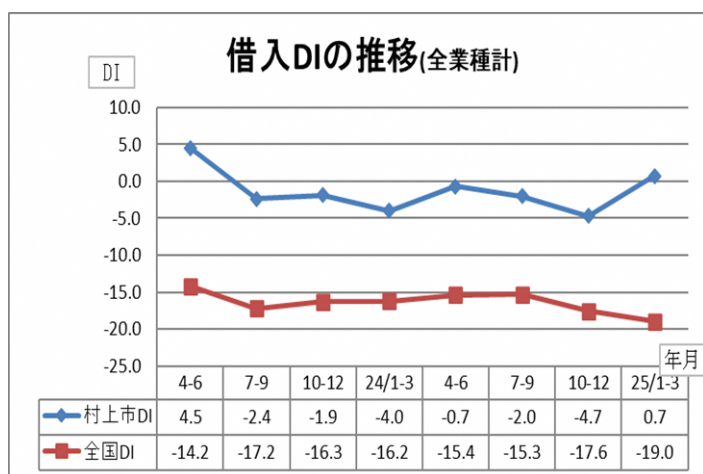
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、22.3ポイント低下し▲9.6となった。前期における今期予測(▲10.4)より0.8ポイント上昇し、前年同月比では6.1ポイント低下した。全国DIは5.9ポイント低下し▲16.7となった。

来期については、11.0ポイント上昇し1.4となる見通し。全国DIは5.1ポイント上昇し▲11.6となる見通し。



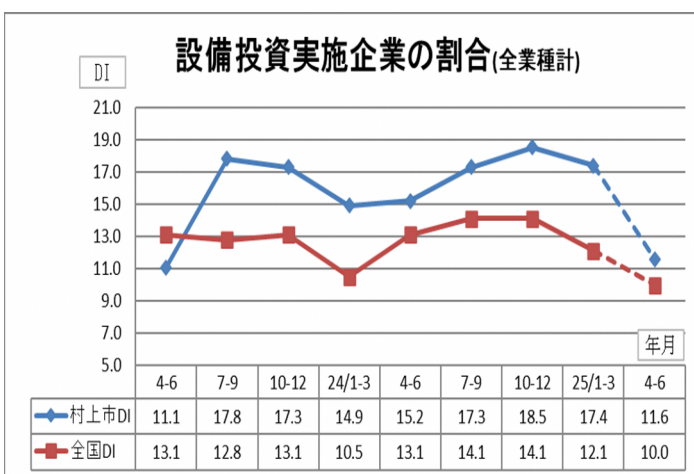
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、2.6ポイント低下し▲12.2となった。前期における今期予測(▲25.5)より13.3ポイント上昇し、前年同月比では0.1ポイント低下した。全国DIは4.1ポイント低下し▲26.0となった。

来期については、2.1ポイント低下し▲14.3となる見通し。全国DIは5.5ポイント上昇し▲20.5となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、5.4ポイント上昇し0.7となった。全国DIは1.4ポイント低下し▲19.0となった。

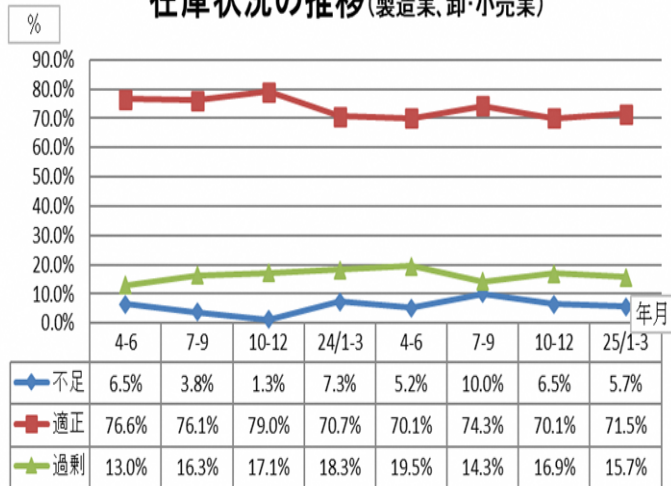
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	1.8%	→ 3.4%
・変わらない	38.1%	→ 38.9%
・難しくなった	6.5%	→ 2.7%



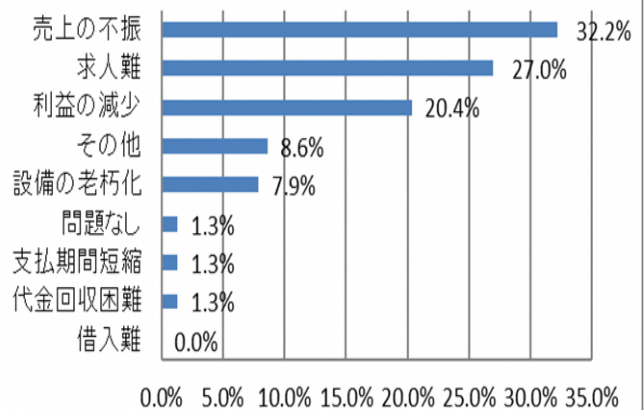
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、1.1ポイント低下し17.4となった。前期における今期予測(10.7)より6.7ポイント上昇し、前年同月比では2.5ポイント上昇した。全国DIは2.0ポイント低下し12.1となった。

来期については、5.8ポイント低下し11.6となる見通し。全国DIは2.1ポイント低下し10.0となる見通し。

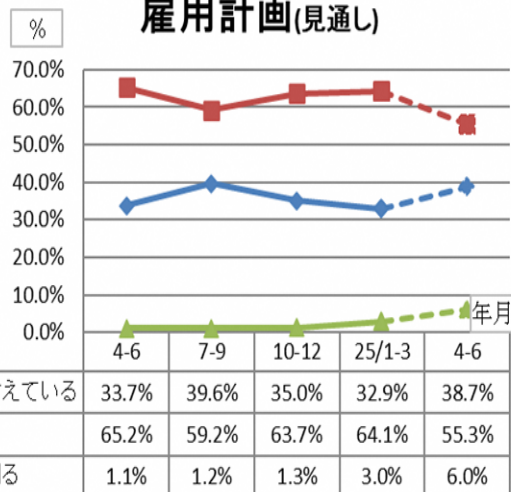
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



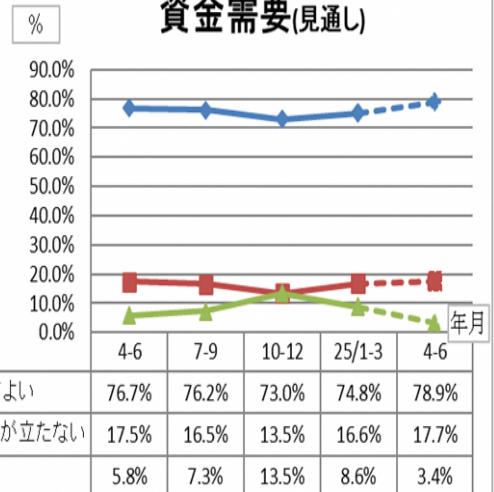
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



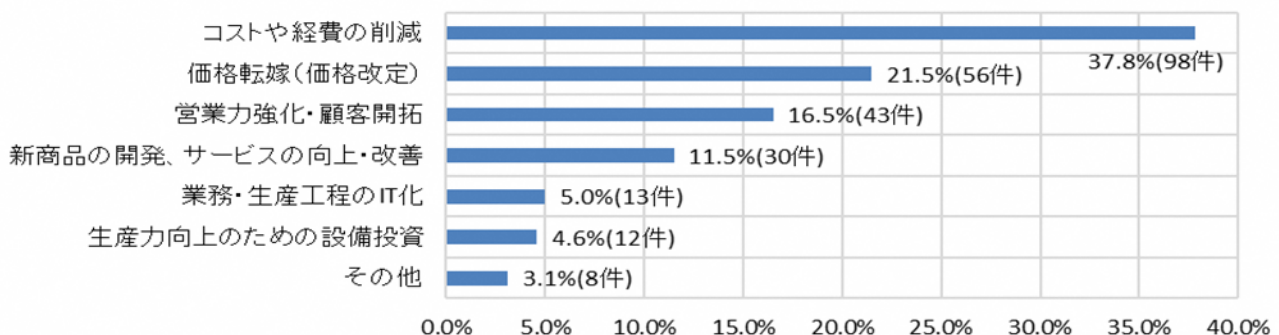
資金需要(見通し)



利益確保について

利益確保のために取り組んでいることを、次の中から選択してください。(複数選択可)

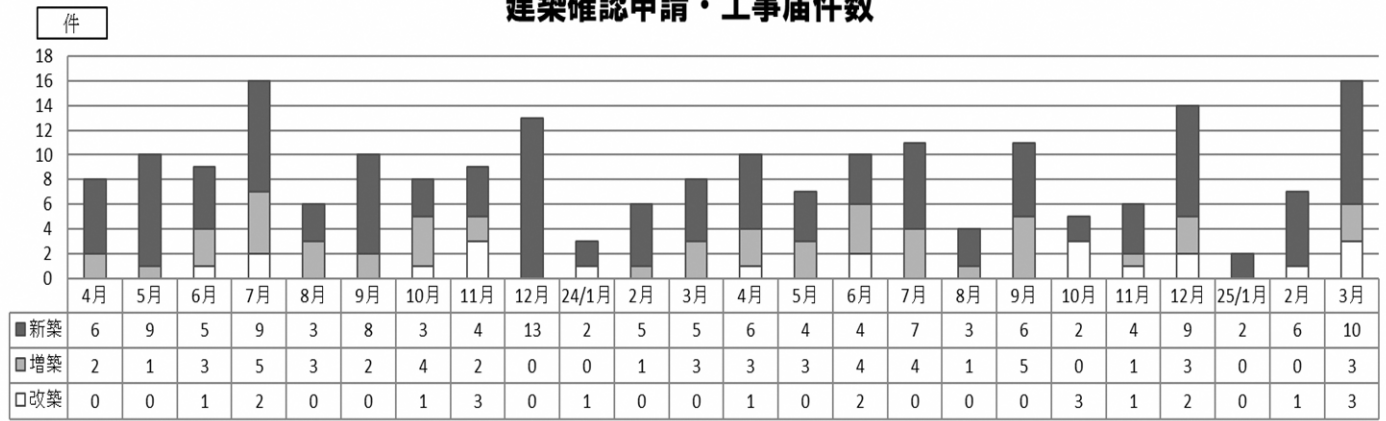
利益確保のために取り組んでいること



<その他の主なコメント>

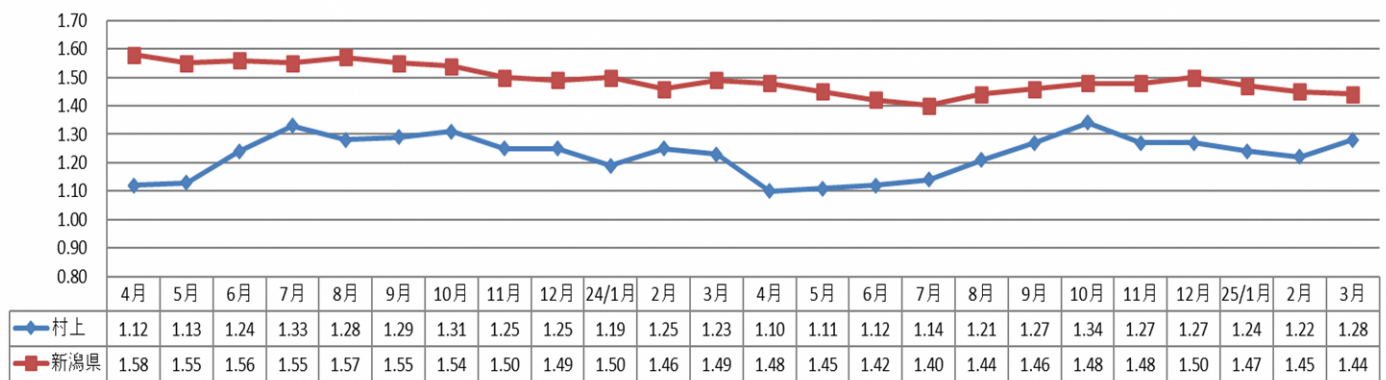
- ・経費削減が価格アップに追いついていないが、価格転嫁も頻繁にできないため様子見。
- ・顧客に対しての成果品を納めるために品質確保も重要課題である。
- ・作業員の確保。組織力強化。
- ・建設DX(ディレクター)の推進。
- ・廃業の方向で考えているので、利益確保には力を入れていない。

建築確認申請・工事届件数



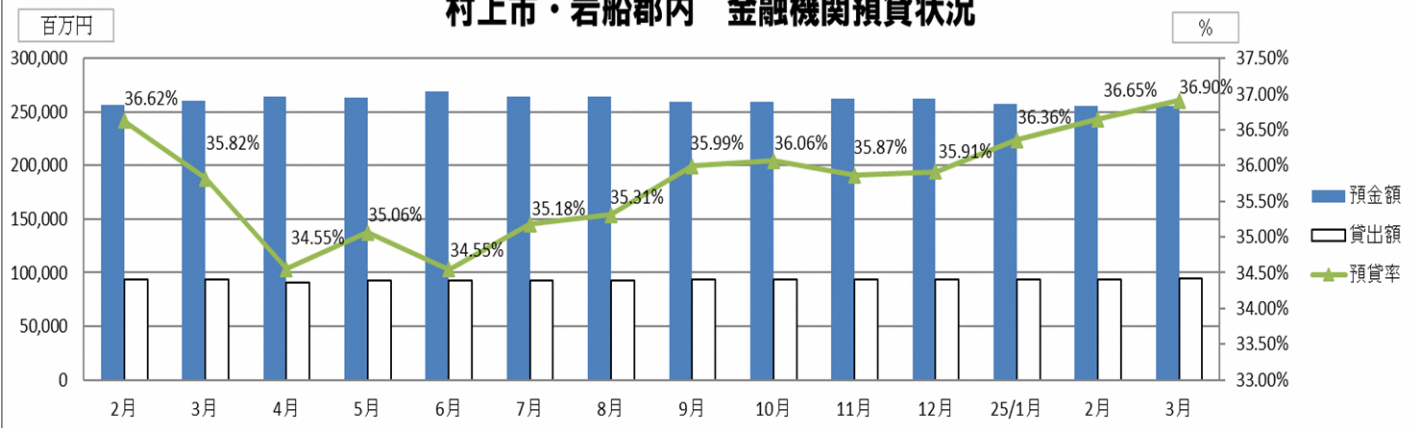
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2025年3月中旬～2025年4月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:152社(回収率76.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫
(全国DI)	<2025.1-3実績・2025.4-6見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)